

PCS とは

PCS(Punched Card System) は、米国のセンサス局の職員ホレリスによって考案され、1890 年に初めて実用化された集計方式です。具体的には、調査事項をパンチカードに穿孔し、分類機、会計機等の統計機器を使用して分類集計を行いました。

我が国においても、大正 9 年の第一回国勢調査で PCS を用いることが計画されましたが、穿孔機に比べて集計機の導入が遅れたため、集計には 9 年以上を要しました。本格的に PCS が採用されたのは昭和 5 年の第三回国勢調査からです。

この PCS 方式は、昭和 30 年代まで採用されておりました。